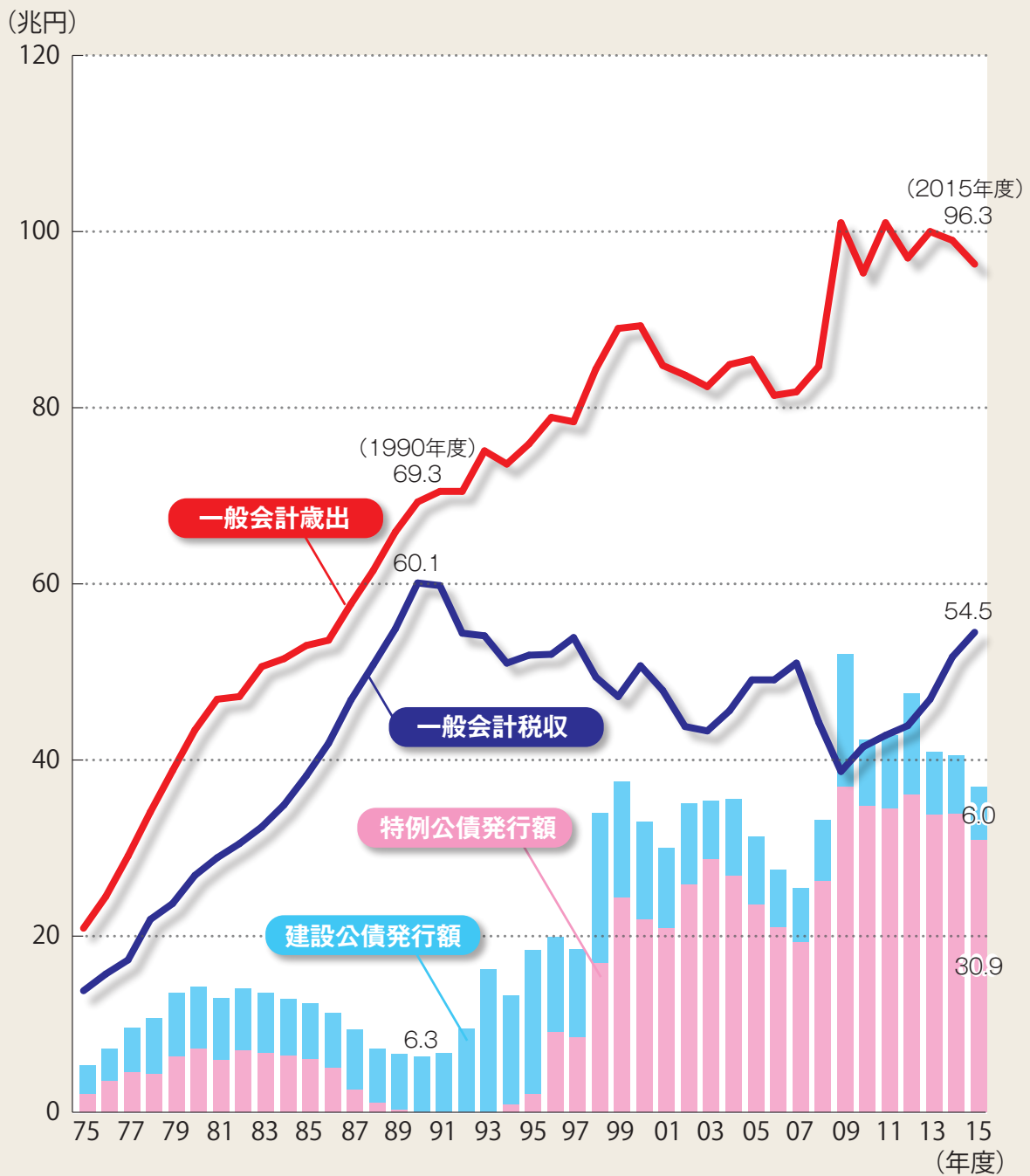


図表  
4

# 歳出・歳入の推移と公債発行額

- これまで、我が国財政は、歳出が一貫して伸び続ける一方、歳入（税金）は1990年度を境に伸び悩んできました。その差は借金である公債（建設公債・特例公債）の発行によって賄われています。



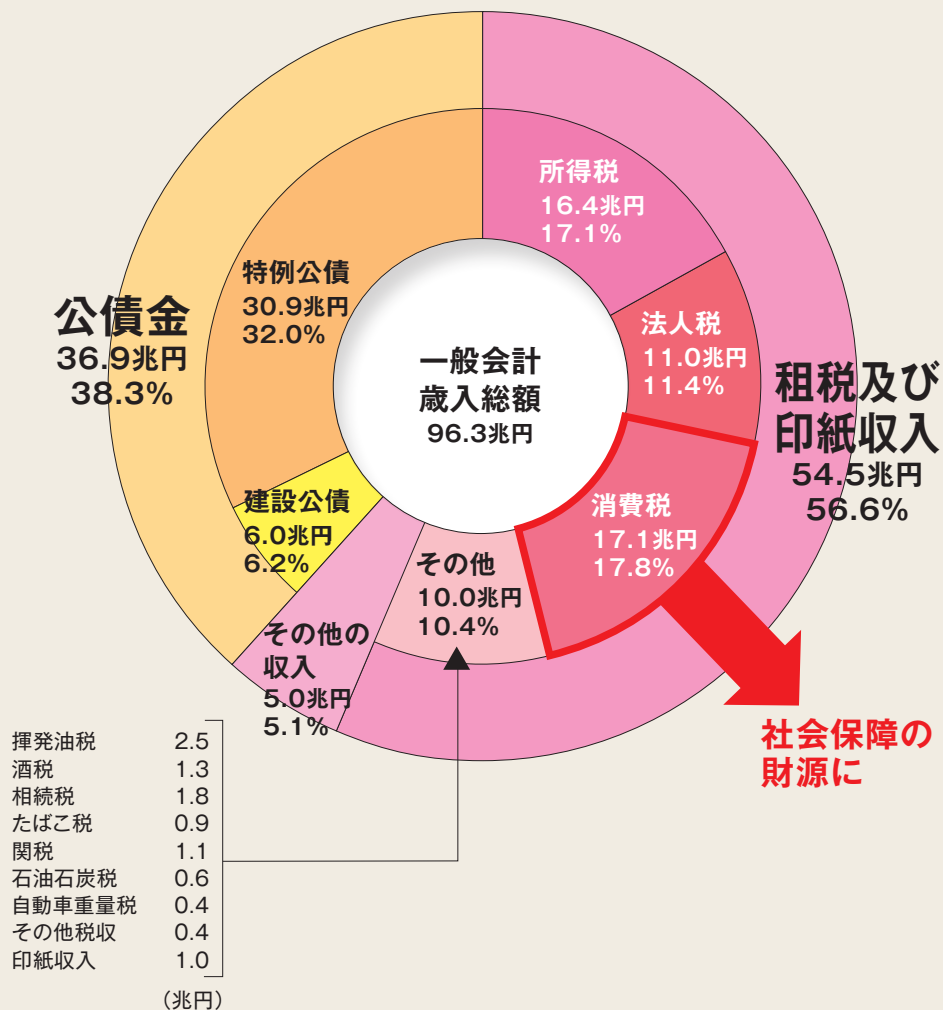
図表  
2

# 国の歳入予算の構造

- 国の一般会計歳入は、所得税、法人税、消費税の3税、その他の税収や税外収入、及び公債金からなっています。
- 現在、税収や税外収入では歳出全体の6割程度しか賅っていません。この結果、約4割は公債金すなわち借金に依存しており、将来世代の負担となります。
- また、2014年4月に消費税率が5%から8%に引き上げられました。消費税収はすべて社会保障財源に向けられます。

※従来の地方消費税分(消費税率1%相当分)は除きます。

【 2015年度政府予算 】



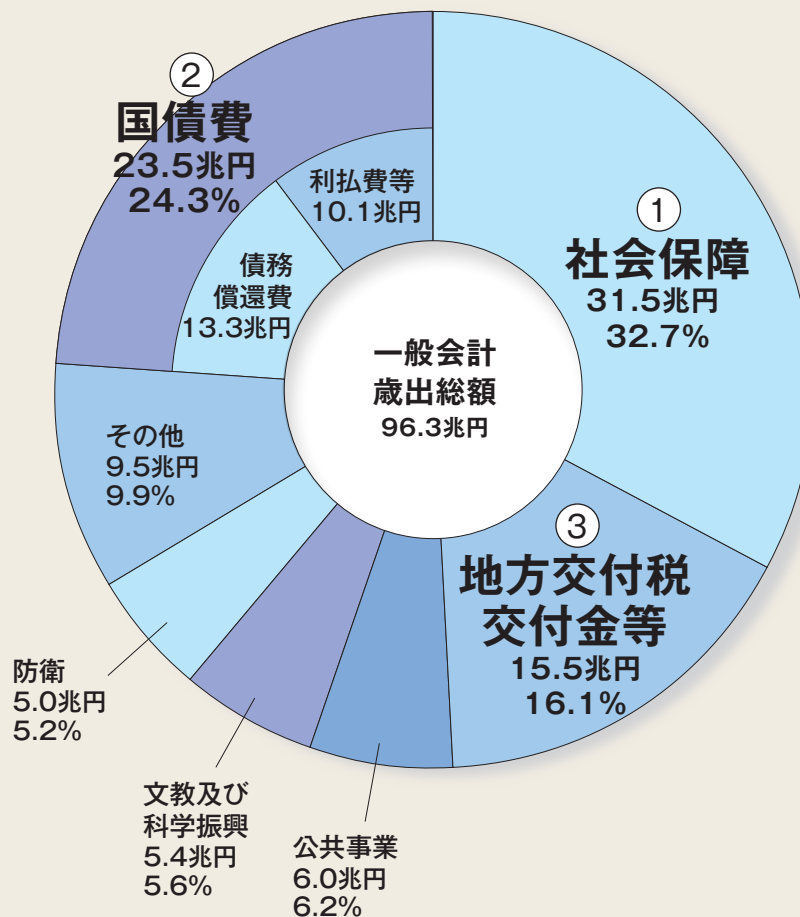
# 国の歳出予算の構造

- 国の一般会計歳出では、社会保障関係費や国債費が年々増加している一方、その他の政策的な経費（公共事業、教育、防衛等）の割合が年々縮小しています。

- ①「社会保障」:年金、医療、介護等を給付するための支出であり、高齢化などの要因によりこれまで毎年1兆円規模で増加してきた経費
- ②「国債費」:償還と利払を行うための経費からなり、国債残高の増大に伴い増加する経費
- ③「地方交付税交付金等」:すべての地方が最低限の行政サービスを提供できるよう、地方団体間の地方税収の偏在を国が調整して配分するための経費

これら3経費で、一般会計歳出の7割を占めています。

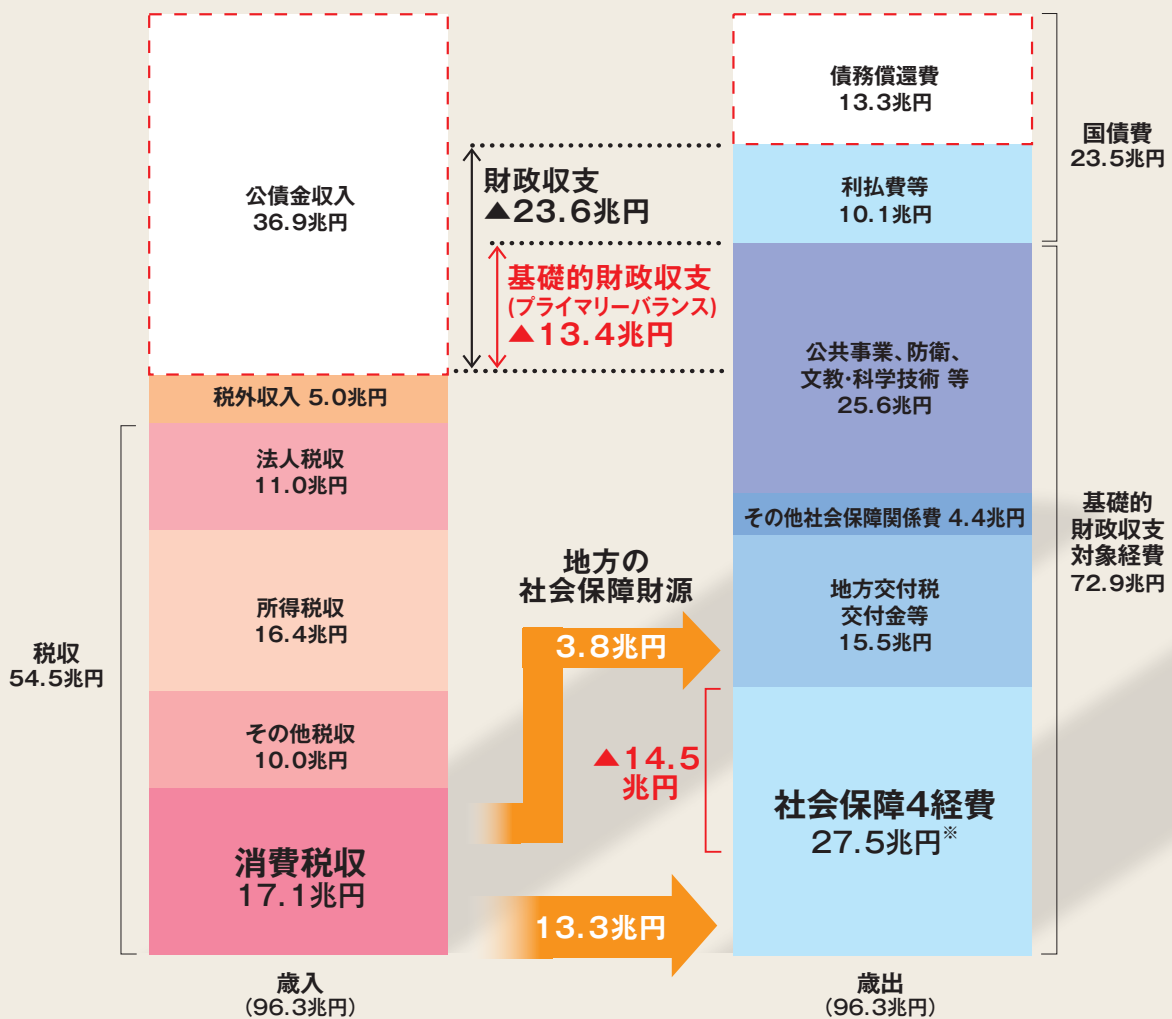
【 2015年度政府予算 】



# 消費税収は社会保障に

- 消費税収(国・地方)は、すべて国や地方の社会保障財源に向けられます。  
※従来の地方消費税分(消費税率1%相当分)は除きます。
- 政策的経費(公共事業、教育、防衛等)を、税込及び税外収入でどれだけ賄っているかを示す指標が、プライマリー・バランス(PB)です。この赤字分は、将来世代の負担である借金で賄います。

【 2015年度一般会計予算 】



※年金特例国債の償還費0.3兆円は含まない。